

1. 計画骨子

計画の概要等	課題	各種施策(案)
<p>【計画期間】 2021年度～2030年度(10年間)</p> <p>【目指すべき姿】 今治市が迎えている人口減少型社会において、観光振興計画により地域の活性化を達成している状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 観光関連産業の振興と集積 ▶ 交流人口・定住人口の拡大 ▶ シビックプライドの醸成 ▶ 自然・文化の保全 など <p>【目標像】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>目標1 観光産業の発展、特に民間事業者を主体とした観光産業の集積</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>目標2 「サイクルツーリズム」を中心的な取組みに位置付け、世界的な先進地を目指す</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>目標3 シビックプライドを醸成する様々な取組みを行い、「関係人口」を創出、その先にある「定住人口」の増加を目指す</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標4 継続的な観光需要を創出し、持続可能な地域の実現を目指す</p> </div>	<p>課題1 観光消費額増大に直結する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ マーケティング・リサーチの体制確立 ▪ 観光コンテンツの拡充 ▪ 情報発信、PR方法の改善 ▪ 多様なニーズ(ワーケーション・ブリージャーなど)に応じた滞在時間延長施策の検討 <p>課題2 受入環境整備に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ ハード面における受入環境不足 ▪ ソフト面における受入環境不足 <p>課題3 持続可能な取組みに関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 移住促進、観光地としての地域ブランド化への取組み ▪ 市民の地域への思いを高める取組み ▪ 災害に対する準備(新型コロナウイルス感染症への対応を含む) ▪ 民間事業者の誘致と投資の促進 ▪ 地域内における一体的な取組み ▪ 近隣地域や関係地域と連携した取組みの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ○ マーケティング・リサーチの強化 ○ 国内外の情報収集と分析、活用 ○ 市内観光市場の情報収集と分析、活用 ○ コンテンツの磨き上げと掘り起こしによる滞在時間の延長 ○ サイクルツーリズムのさらなる推進(他のコンテンツと組み合わせた商品造成等) ○ 独自コンテンツの磨き上げと旅行商品の造成(日本遺産、インフラツーリズム、アートツーリズム、産業観光など) ○ 物産(お土産)・飲食メニューの新規開発 ○ 効果的なプロモーションの実施 ○ 費用対効果を考慮したPRの実施 ○ インバウンド、サイクリスト、ブリージャーなどターゲットに応じた情報発信 ○ 会議や大会等の誘致推進 ○ 学術会議等の開催誘致 ○ 合宿の誘致(修学旅行を含む) ○ サイクリング、日本遺産、地場産業等に関する各種イベントの開催、支援(協賛等) ○ ハード・ソフト両面の快適な旅行環境の提供 ○ サイクリング環境の改善(レンタサイクルのICT化、専用通行帯の整備等) ○ 多言語対応(インバウンド向けパンフ、案内標識、翻訳機器の導入) ○ 多様な価値観への対応(ハラール・ビーガン等) ○ 旅行環境の改善(キャッシュレス決済等) ○ 二次交通の改善 ○ おもてなし力の向上 ○ 多様なニーズに対するガイドの育成(多言語、外国人、サイクリングガイド) ○ 観光業界人材の育成 ○ いまばりファンづくり ○ 「しまなみ海道」、「サイクルシティ」を核としたブランディング ○ 「i.i.imabari」のロゴマークの活用 ○ 移住促進のための取組み(ワーケーション体制整備、お試し移住等) ○ ふるさと納税制度の活用 ○ シビックプライドの醸成 ○ 愛郷教育 ○ 景観、文化財の保全 ○ 災害等リスクへの対応 ○ 災害への備え(誘導標識の整備、新しい生活様式に対応した事業、イベントの実施) ○ 被災後の対応(避難情報の正確な発信による安全確保) ○ 復興・再生へ向けての取組み(観光事業者への支援制度の周知、創設) ○ 観光事業の集積 ○ 事業者支援(事業者からの相談対応、各種支援制度の情報提供) ○ DMO「しまなみジャパン」が地域を牽引する仕組みづくり(関係団体による意見集約、情報共有体制等の構築) ○ 関係団体・事業者との役割分担と連携 ○ エリアマネジメントの強化(関係団体の役割分担の明確化) ○ DMO「しまなみジャパン」の機能強化と事業者との連携・協働 ○ 広域連携 ○ 広域連携による取組み(ナショナルサイクルルート関係都市、台湾日月潭等)

2. 今後の取組みの進め方

(1) 今治市、愛媛県、しまなみジャパン、今治地方観光協会等の関係団体及び民間事業者の役割分担を明確化するとともに、相互に連携して取り組む。

(2) 評価指標の達成状況に応じて毎年度各事業のフォローアップを実施

[評価指標] KGI: 観光消費額

KPI: ①観光入込客数 ②宿泊費 ③主要観光施設の物産消費額

(3) 計画を随時見直ししながら事業を実施。中間年度である2026年度には、社会情勢の変化を踏まえた全体的な見直しを行う予定。